

PDFファイルの生成に関する機能の作成に対して取り組んだ内容

このシステムでは、保存してある情報をPDFファイルとして出力し、紙媒体として印刷して取り扱える機能を実装しています。

この資料の目的は、PDFファイルの生成プログラムで工夫したことをプレゼンする事です。

目次

1

選定したライブラリ

※注意点

現状では、PDFファイルそのものを出力する機能は実装できていますが、開発期間の関係上、PDFシートのデザインまでは実装できておりません。

今後の開発で実装予定です。

選定したライブラリ

選定したのは、**iText Pdf**となります。

理由としては以下ようになります。



信頼性のあるライブラリのため

PDFの出力ライブラリは他にも存在しますが、このライブラリは米国防総省への導入実績があるライブラリとなっており、信頼性が高いと思っております。

そのため、バグを作りこんでしまう危険性を可能な限り少なくすることができます。

ただし、このライブラリのオープンソースのライセンスは**AGPL**となっており、簡単に言うと「**取り扱いがすごく厳しいライセンス**」です。そのため、今後このシステムを外部に公開するのであれば、かなり気を付ける必要があります。（ユーザーからのコード開示請求があれば、必ず応じる必要があります）



数多あるPDFライブラリの大元となっているライブラリなので、汎用性が高い

PDFの出力ライブラリは他にも存在しますが、このiTextを用いて開発されているPDFライブラリも存在します。つまり、他のライブラリではなくiTextを使用すれば、汎用的に知識を用いることができ他のライブラリも今後難なく使用できるようになるため、自身のスキルアップにつながります。